

News & Information

2025/12/15

〔第12回猫の集会での発表のお知らせ〕

当社は、既に臨床で使われている医薬品（既承認薬）の新しい効果を発見し、その薬を別の疾患の治療薬として開発する研究戦略・ドラッグ・リポジショニング（DR）の先駆的企業としてこの分野をリードして参りました。今般、動物用医薬品への応用をも見据えた研究を実施し、その成果を2025年11月30日に東京・浜松町で開催された「第12回猫の集会」において発表いたしましたのでご報告いたします。

国立大学法人宮崎大学と当社は、ネコの致命的な感染症（SFTS*1 および FIP*2）に対し、当社が保有する既承認薬ライブラリを活用し、新規治療薬の発見を目指して共同研究しております。今回、複数の既承認薬が SFTS および FIP の原因となるウイルスを細胞に傷害を与えることなく低減させることを見出しましたので、以下の2演題で発表いたしました（発表者：敬称略）。

- ① 発表者：Hui Zhang、齊藤暁
演題：ネコを対象とした SFTS 治療薬の開発
- ② 発表者：小阪天音、齊藤暁
演題：新たな FIP 治療薬の開発

今回発表した「猫の集会」は、ネコに関連する研究者・医療従事者・産業界の専門家が一堂に会し最新の知見や研究成果を共有する学術的なフォーラムで、基礎研究から臨床応用、さらには産業分野まで幅広いテーマが取り上げられます。SFTS はネコだけでなくヒトにも感染し、その致死率は10-30%とされ患者数も年々増加しています。本共同研究の成果は、ネコの治療薬開発のみならず、ヒトへの応用にも発展しうる可能性があると考えています。

本共同研究に関しまして、さらに進捗がありましたらご報告いたします。

（※1）Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome：重症熱性血小板減少症候群

（※2）Feline Infectious Peritonitis：猫伝染性腹膜炎

以上